

# 【メルマガ特典②】

## 投資の基礎知識 と 投資の種類

目代康二

## ■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

## ■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第 1 条 本契約の目的: 乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条 禁止事項: 本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第 3 条 損害賠償: 甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第 4 条 契約の解除: 甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第 5 条 責任の範囲: 本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

# 【はじめに】

何事もそうですが、基本を知っているか知っていないかで、成果に大きな違いが出てきます。

この特典では、投資を始める上で最低限知っておきたい基礎知識と、具体的な投資の種類について深掘りして説明していきます。

あなたがこれから投資を始めるにあたって、どの投資を選んでお金を増やしていけばいいのか、その判断の参考になれば幸いです。

# 投資とは何か？

私たちは普段何気なく「投資」という言葉を使っていますが、実際のところ投資とは何なののでしょうか？

まずは投資という言葉の意味から理解しましょう。

## 投資と貯蓄は別物

そもそも「投資」とは、将来利益が出ることを期待してお金を投じる行為のことをいいます。

早い話が、「儲けるためにお金を提供する行為」ということですね。

株式投資を例に挙げると、将来株価が上がることを見越して株を購入するわけです。

予想通り株価が上昇すれば、その株を売って利益が得られますね。

また、投資は、会社の給料のように労働型の収入ではなく、「お金がお金を増やす」形態の収入となります。

つまり、会社の仕事のように、あなたの時間をそれほど投下しなくても、お金自身が働いてお金を稼ぎ出してくれるのです。

## 投資と貯蓄は別物

投資と似たものとして「貯蓄」があります。

貯蓄とは、お金を増やすことよりも「貯める」ことに重きをおいた行為です。

投資のように積極的にリスクを負ってお金を増やすのではなく、安全性を重視して、確実にお金が貯まるように運用していきます。

**全てのお金を投資に回すとリスクが高いですし、反対に貯蓄だけしていても、いつまでたってもお金が貯まりません。**

**投資と貯蓄をバランス良く行うことが大切です。**

# 投資がいま必要な理由

私たちの親の世代の時代には、日本経済は右肩上がり成長を続け、給料もどんどん上がり、終身雇用制度も機能し、預金金利も非常に高い水準でした。

また、人口構成も高齢者より現役世代の方が多かったため、年金制度も何の問題もなく機能していました。

つまり、当時は会社のために一生懸命働けば給料が増え、貯金もどんどん貯まり、また年金も十分に受け取れる状況だったため、お金についてあれこれ考えなくても、生きていくことができました。

昔は、「一つの会社で一生懸命働けば一生安泰」という状況が成立していたのです。

ところが、私たちの時代にはすでに高度経済成長は終わり、会社の給料は全く上がらず、低金利のため貯金をしてもお金が全く増えず、また年金制度もほとんど当てにできない状況です。

また、「人生100年時代」という言葉が示す通り、生まれてくる人のおよそ半分が100歳以上まで生きるといわれています。

長生きするということは、それだけ多くのお金が老後に必要となるわけですが、給料や貯金、年金があてにできない中、老後のお金を貯めるのは非常に難しいです。

さらに、寿命が延びることに伴い、会社の寿命よりも個人の就労年数の方が長くなるため、私たちは人生の中で複数の転職を経験することになります。

つまり、私たちの時代には、以前通用した「一つの会社で一生懸命働けば一生安泰」という神話は崩れ去り、自らの力でお金を稼いで生き残る必要があるのです。

私たち全員が「お金を増やす行為＝投資、資産運用」を行う必要があり、投資をしたくない人も、否応なく投資をしなければならない時代に突入したのです。

## 具体的な投資の種類

投資の必要性が分かったところで、ここからは具体的な投資の種類について解説します。

# 投資信託

投資には様々な種類がありますが、その中でも投資初心者でも簡単に始められて、初期投資が少なく済んで、さらにはリスクも比較的低いのが投資信託です。

投資信託は投資初心者に非常におすすめな投資ですので、しっかりと基本を押さえましょう。

## 投資信託とは

あなたは「投資信託」という言葉を聞いたことがありますか？

投資信託と聞くと少し難しそうですが、簡単にいうと、投資家から集めたお金を一つにまとめて、株や債券などに投資する商品のことをいいます。

投資家からすれば、一旦お金さえ提供すれば、あとの運用は全て丸投げできますので、手間をかけることなく資産を増やせるメリットがあります。

また、投資信託ごとに運用方針が異なっていて、例えば積極的に運用したいなら株式型の投資信託を選ぶといいですし、リスクを抑えて堅実に運用したいなら債券型の投資信託を選ぶのが基本です。

自分のライフステージや投資目的に応じて、投資信託の種類を選んでいきます。

また、投資信託は30年、40年といった長期投資が基本の金融商品です。

**短期間で大きく稼ぐというよりかは、長い時間をかけて少しずつ利益を積み上げていくようなイメージです。**

**老後の資金作りに向いているのが、投資信託の大きな特徴です。**

## 投資信託の選び方

投資信託の数は星の数ほどあり、日本だけでも5千種類ほど設定されています。

全ての投資信託の内容を一からチェックするのは不可能ですし時間の無駄ですので、ある程度の選定基準を設けることが大切です。

基本的には、「手数料が安い」「長期間運用されている」「ある程度の資産規模がある」という3つの柱で探すといいでしょう。

投資信託選びのポイントとしては、以下のものが挙げられます。

- ・インデックスファンド
- ・購入手数料がかからない
- ・信託報酬が0.5%前後
- ・運用期間が無期限または長期のもの
- ・分配金が出ない
- ・設定から3年以上は経過している
- ・純資産残高が30億円以上

ここに挙げた条件をもとに投資信託を探せば、投資信託の数はだいぶ絞り込まれます。

あとはその中からなるべく信託報酬の安い投資信託を選べば問題ないでしょう。

ちなみに、ここで挙げた条件は投資信託の本を3冊ぐらい読めば書いてあるはずですので、余裕があったら読んでみてください。

## 投資信託のリスク

投資信託は安全性が高いと言われていますが、やはりリスクもあります。

一番気をつけなければならないのが価格変動リスクです。

投資信託の価格（基準価額）は日々変動していますので、基準価額が上がれば利益が出ますし、基準価額が下がれば損失を抱えることになります。

価格変動リスクに備えるためには、なるべく安い時に投資信託を購入することです。

その際、毎月一定金額を積み立てる「積立投資」を行えば、平均購入単価を下げるができますのでおすすめです（ドルコスト平均法といいます）。

積立投資なら、一度設定すれば、あとは毎月決まった日に自動的に投資信託の購入が行われますので、手間をかけることなく投資が始められます。

投資信託には価格変動リスク以外にも様々なリスクがありますので、リスクがあることも認識した上で、投資を進めましょう。

## 投資信託の解約タイミング

さて、投資信託を購入したら、いつかは売る「解約する」ときがやってきます。

投資信託を解約するタイミングとしては、利益が出ているため「利益確定」するときと、損失が出ているため「損切り」するときの2通りがあります。

基本的には、投資信託を解約するのは、あなたが老後を迎えたときですので、30年～40年ぐらい先です。

そのタイミングでは、ほとんどの場合、投資信託の価格は上昇しているため「利益確定」となります。

## 仮想通貨投資

最近何かと話題にあがるのが「仮想通貨」ですね。

仮想通貨は2017年ごろから注目を集めるようになり、仮想通貨で億単位の資産を築いた「億り人」という言葉が新聞やニュースで頻繁に取り上げられました。

しかし、2018年、2019年に入ると相場は一転して下落基調となり、多くの投資家が含み損を抱えている状況です。

現状、投資を控えるのが妥当な判断です。

### 仮想通貨とは

そもそもの話、仮想通貨とは何なのでしょう？

仮想通貨とは、インターネット上に存在する「仮想」の通貨で、円やドルなどの法定通貨のように硬貨や紙幣は存在せず、インターネット上にのみ存在する通貨です。

「仮想通貨」という言葉には胡散臭いイメージがありますが、仮想通貨には「ブロックチェーン」という次世代暗号化技術が採用されているため、その安全性は非常に高いといえます。

ブロックチェーン技術とは、インターネット上に散らばるコンピューター同士で仮想通貨の取引を記録し合う技術で、不正を防ぎつつも安全・確実・スピーディーに取引が行えるようになっています。

また、仮想通貨には「マイニング」という仕組みがあり、仮想通貨の取引の記録作業を行った者には、報酬が支払われるようになっています。

マイニングにより、特定の管理者がいなくても仮想通貨の取引は自律的に安全・確実に行われるようになっていきます。

## 仮想通貨の種類

仮想通貨の数は世界中に数千種類あるといわれていますが、その中でも圧倒的な地位を占めているのがビットコインとイーサリアムです。

### ビットコイン

ビットコインは世界初の仮想通貨で、仮想通貨の時価総額1位の座に君臨しています。

ビットコインは仮想通貨の基軸通貨としての役割を果たしており、ビットコイン建てでしか取引できない仮想通貨が多く存在します。

どの仮想通貨に投資すればいいか迷ったら、とりあえずビットコインに投資しておけば間違いないでしょう。

### イーサリアム

ビットコインに次ぐ時価総額2位の座にいるのがイーサリアムで、ビットコインのような「通貨」としての役割以外にも、「スマートコントラクト」という独自の機能を備えています。

スマートコントラクトとは、ブロックチェーン上に契約情報を記録する技術です。

もともとブロックチェーンは記録内容の改ざんが不可能に近いと、スマートコントラクトで契約情報を記録することで、契約内容をインターネット上に信頼できる形で記録することができます。

スマートコントラクトが普及すれば、例えば保険会社の保険料の支払いを自動化したり、医療データを電子カルテとして確実に記録に残したり、様々なことが実現できます。

また、ビットコインやイーサリアム以外にも様々な仮想通貨が存在し、それぞれが独自の特徴を打ち出していますので、色々な通貨を調べてみるといいでしょう。

## 仮想通貨の取引所

仮想通貨の取引を始めるためには、仮想通貨取引所に口座を開設をする必要があります。

取引所は日本国内や海外に星の数ほどありますが、国内取引所はbitFlyerやZaif、bitbank、海外取引所はBinanceあたりに登録しておけばいいでしょう。

なお、国内取引所は取引手数料が非常に高いため、日本円とビットコインの交換のみ国内取引所で行い、あとの取引は全て海外取引所で行うのが基本です。

投資を始める具体的な流れとしては、まずは国内取引所にて日本円をビットコインにかえます。

そして、そのビットコインを手数料の安い海外取引所に送金し、海外取引所でアルトコイン（ビットコイン以外の仮想通貨のこと）の取引を行います。

ビットコイン⇄アルトコインの取引を積み重ねて、ビットコインをどんどん増やしていくのが、仮想通貨投資の基本的な戦略です。

#### 【おすすめの取引所】

##### ■国内取引所

- ・ bitFlyer (ビットフライヤー)
- ・ Zaif (ザイフ)
- ・ bitbank (ビットバンク)

##### ■海外取引所

- ・ Binance (バイナンス)

## 仮想通貨の利益の上げ方

仮想通貨で利益を上げる方法は、基本的にはビットコインとアルトコインのトレードです。

ですが、それ以外にも様々な方法で利益を上げることができます。

例えば、「配当型」の仮想通貨に投資すれば、その通貨を保有しているだけで仮想通貨が無料で手に入ります。

特に仮想通貨取引所が発行する独自通貨には配当型が多く、OKExの発行するOKBやBiboxの発行するBIXは有名です。

興味のある人は、取引所に登録してみるといいでしょう。

- ・ OKEx
- ・ Bibox

また、上場前の仮想通貨を広く知ってもらうため仮想通貨を無料で配布するAirDrop（エアドロップ）という企画もあり、参加するだけで仮想通貨をタダで手に入れることができます。

エアドロップされる通貨の中には、十数万円の価値に化けるものもありますので、タダとは言ってもばかにできません。

## 仮想通貨の投資戦略

仮想通貨への投資で勝つためには、「戦略」がとても大切です。

基本的には、ビットコインとアルトコインの取引で利益を上げることになりますが、アルトコインの価格が常に上がり続ける保証はどこにもなく、時には予想が外れて価格が下がってしまうこともあります。

**仮想通貨に投資する上で大切なことは、全資金を一つの仮想通貨に集中させるのではなく、いくつかの通貨に分散して投資することです。**

こうすれば、仮に一つの通貨が値下がりしても、他の通貨の値上がりで相殺されて、損失を最小限に抑えることができます。

また、仮想通貨で稼ぐためには、目先の上げ下げに一喜一憂することなく、当初自分で立てた利益目標や損切りラインを忠実に守って投資を進めることも大切です。

**仮想通貨は価格の変動が非常に激しいので、他の投資以上に強い「マインド」が求められます。**

## 仮想通貨のウォレット

仮想通貨に投資している人は、基本的には取引所に通貨を入れたままの人がほとんどだと思います。

ところが、マウントゴックスのビットコイン消失事件、コインチェックのネム流出事件に見られるように、取引所に仮想通貨を入れたままにするのは、実は非常に危険なことなのです。

一般的に、取引所には直近で取引する予定のある通貨だけ入れておくようにし、いわゆるガチホ（ガチでホールドの略、長期保有する通貨）する通貨は、取引所ではなくPCウォレットやハードウォレットなどの安全性の高い保管先に入れておくのがいいと言われています。

しかし、ウォレットを移動するのが面倒だという人が大半だと思いますが、その場合、無理して移動しなくてもいいと思います。

また、仮想通貨の中には、指定のウォレットに保管しておく定期的に報酬がもらえるものもありますので、個別の通貨について、情報収集を欠かさないようにしましょう。

# 不動産投資

サラリーマンの中でも根強い人気があるのが不動産投資です。

**不動産投資の優れている点が、ほとんどの実務を管理会社に外注化できるので、何もしなくても毎月お金が自動的に入ってくる状況を作り出せることです。**

不動産投資なら、仕事が忙しいサラリーマンでも時間を取られることなく収入を増やすことができます。

僕自身、一棟アパート、シェアハウス、区分マンションに投資しているわけですが、特に何もしていないのに毎月勝手にお金が振り込まれてきます。

サラリーマンのあなたには非常におすすめな投資ですので、ぜひ投資を検討してみてください。

## 不動産投資の基本

不動産投資とは、アパートやマンションなどの不動産を入居者に貸し、家賃収入を得る投資方法です。

不動産投資の種類としては、マンション一部屋から始まり、一戸建て、一棟アパート、一棟マンション、シェアハウス、駐車場経営などがあります。

不動産投資のメリットは、毎月安定した家賃収入が入ってくることです。

不動産は入居者がいる限り継続的に収入が入ってきますので、キャッシュフロー型の投資といえます。

また、不動産収入は老後の年金代わりとして活用できますし、ローンを組んだ時に団体信用生命保険に加入することから、万が一のことがあった時の生命保険代わりとしても利用できます。

当然のことながら、不動産は現物資産としての資産価値も高く、投資対象としては非常に魅力的です。

## 不動産投資のリスクと対処法

不動産投資と聞くと、多くの人が「危険だ」というイメージを持つのではないのでしょうか？

たしかにその通りで、不動産の価格は安く見積もっても数千万円ですし、金額が金額なだけに、購入時は金融機関から融資を受ける必要があります。

融資を受けるということは、不動産投資で失敗したら、数千万円もの「借金」を背負う恐れがあるということです。

私たちが一番恐れるリスクがこの「借金のリスク」ですね。

ところで、不動産を購入する前にきちんと収支をシミュレーションしたり、頭金を十分に投入することで、借金のリスクはある程度抑えることができます。

また、不動産投資では「空室リスク」も見逃すことができません。

せっかく不動産投資を始めても、入居者が入らないことには一行に家賃は入ってきません。

家賃が入ってこなければ、金融機関へのローンの返済ができませんし、返済が滞ることがあつたら、最悪の場合物件を手放す必要だってあります。

空室リスクに備えるためには、賃貸需要の高い地域に物件を購入することはもちろんのこと、リフォームをしたりキャンペーンを打ったりするなど、投資家側の努力が必要です。

これ以外にも、不動産投資には「滞納リスク」「家賃下落リスク」「管理会社の倒産リスク」「火災や地震のリスク」「事故のリスク」など様々なリスクがあります。

ここであなたにご理解いただきたいのが、こういったリスクがあることははじめから分かっているのですから、あらかじめ対策を打っておけば何の問題もないということです。

不動産投資にはリスクを上回るだけの十分なメリットがありますので、危険だからといってはじめから投資を諦めるのではなく、勇気を出して挑戦していただきたいと思います。

# 初心者は区分マンション投資がおすすめ

不動産投資の中でも比較的ハードルが低いのが「区分マンション投資」です。

区分マンション投資とは、マンション一室単位で行う不動産投資です。

マンション一室から始められるので、規模としては数百万円～5,000万円ぐらいに収まるのが大概です。

投資金額が比較的少なくて済むので、まずは区分マンション投資から小さく始め、慣れてきてから一棟物件にチャレンジするといいいでしょう。

なお、区分マンション投資のデメリットとしては、入居者が待機すると、家賃収入がゼロになることです。

一棟物件なら退去が出て他の部屋があるので家賃収入はゼロにはなりません、区分マンションは入居世帯が1つのためそうになってしまうのです。

区分マンション投資では、空室が出てもすぐに埋まるような、入居需要の強い地域に物件を購入することが必須です。

## 不動産投資と経費

不動産投資と税金は切っても切り離せない関係にあります。

不動産投資では様々な費用を「必要経費」として計上可能ですので、積極的に経費を計上して所得を抑え、節税することが大切です。

経費としては、固定資産税や都市計画税だけでなく、管理委託費用や毎月のローンの利息部分、交通費や不動産関連の書籍代、セミナー代などが計上可能です。

無理やり経費に計上にしろとはいいいませんが、経費として計上できるものは極力計上するようにしましょう。

不動産投資を始めると、会社員のように税金が引かれた状態でお金を受け取るのではなく、お金を受け取ってから経費を差し引いて税金を支払えるようになるため、お金に対する意識が180度変わります。

## ソーシャルレンディング

「ソーシャルレンディング」という言葉を初めて聞く人は結構多いと思います。

Copyright © Koji Mokudai All Right Reserved

ソーシャルレンディングとは、インターネットを使って資金調達するサービスのことをいい、「お金が必要な人」と「投資家」をインターネット上でつなぐ役割を果たしています。

ソーシャルレンディングは、年利5%程度の高金利が期待でき、また、ほとんどの案件に不動産担保が設定されているため、万が一借り手が返済できなくなっても、投資家のリスクは最小限に抑えられるようになっています。

**5%という高金利は非常に魅力的で、なおかつリスクもかなり抑えられているため、ソーシャルレンディングは投資初心者にも非常におすすめできる投資です。**

大して利息もつかない銀行に預金しておくぐらいなら、ソーシャルレンディングに投資した方がよっぽど効率的といえます。

ただし、リスクがゼロというわけではありませんので、それを踏まえて投資を行いましょう。

ソーシャルレンディングで有名な業者に「maneo」がありますが、設定金利は年利5%からで、不動産担保もしっかりと設定されているため、安心して投資できます。

当然のことながら、全資金をソーシャルレンディングに投下することはお勧めしません。

余剰資金を投資するようにしましょう。

## 株式投資

「投資」と聞いたら「株式投資」を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか？

それぐらい株式投資は認知度が高く有名な投資です。

ところで、多くの人が一攫千金を狙って株式投資を始めますが、結局大して儲からずやめていきます。

株式投資で勝てる人は、ほんの一握りなのです。

しかし、逆を言うと、一旦勝てる側の人間になれば、ずっと勝ち続けることができます。

株式投資で勝てるようになるためには、とにかく基本を理解することが大切です。

# 株式投資とは

株式投資とは、その名の通り株に投資することで利益を得る投資方法です。

株式投資で利益を上げる最も一般的な方法が「値上がり益」です。

株価が安いうちに株を購入し、株価が上がったら売って利益を得る方法ですね。

値上がり益を得るためには、将来株価が上がるかどうかを当てる必要があるため不確実性が高く、勝つためには企業分析をしたり、チャートを分析したり、高度な分析能力が必要です。

一方、株式投資には値上がり益以外にも利益を上げる方法があり、「配当金」と「株主優待」があります。

配当金とは、企業の利益の一部を分配したものをいいます。

配当金は、株価の上下に影響されることなく安定して入ってくる収入ですので、なかなか手堅い収入源となります。

また、最近では株主優待を目的に投資を始める人もいます。

株を持っているだけで商品券や製品がもらえるため、株主優待は投資初心者を中心に非常に人気があります。

## 株式投資の戦略

株式投資の戦略としては、キャピタルゲイン（値上がり益）狙いでいく方法と、インカムゲイン（配当金）狙いでいく方法があります。

キャピタルゲイン狙いでいくと、株価の推移を予想する必要があるため、投資初心者がいきなり儲けるのは困難です。

企業分析を中心とした「ファンダメンタル分析」と、チャートの動きを読む「テクニカル分析」への理解が不可欠です。

一方、インカムゲインは安定しているため、手堅い収入源となります。

いずれにしても、株式投資で勝てるようになるには知識と経験が必要ですので、初心者がいきなり株式投資を始めることはおすすめできません。

最低限デモトレード（お金を入れることなく模擬的にトレードすること）を半年間やってみて、勝率が70%以上になるまでお金を投入して投資するべきではないです。

## 値上がり益と値下がり益

株式投資と聞いて多くの人が思い浮かべるのが株価の値上がりによる「値上がり益」です。

しかし、株式投資にはもう一つ重要な利益があります。

それが「値下がり益」、つまり「空売り」による利益です。

空売りとは、証券会社から株を借りてきて取引を行う方法で、信用取引の1つです。

株価が高い段階で借りてきた株を売り払い、株価が下落したときに買い戻すことで、差額を利益として得ます。

空売りを使いこなせるようになれば、株価が上がるか下がるかどちらでも利益が取れるようになります。

株式投資を始めるなら、空売りについての理解も深める必要があります。

# FX

投資の世界では、FXもかなり人気があります。

一時期FXで数億円のお金を稼いだ主婦が話題となりましたが、FXは一攫千金を狙える投資です。

FXもしっかりと勉強すれば勝てるようになりますが、ハイリスク・ハイリターンな投資なので、投資初心者にはあまりおすすめできません。

## FXの基本

FXは「Foreign Exchange」の略で、日本語に直すと「外国為替証拠金取引」となります。

つまり、FXというのは、証拠金を使って外国通貨を取引することをいいます。

FXで利益を上げる方法としては、為替レートの変動を利用してトレードする方法と、金利差（スワップポイント）を利用して利益を上げる方法とがあります。

トレードで利益を上げる場合、例えば1ドル=100円の時に100円分のドルを買って、1ドル=120円の時に円に戻せば、もともと100円だった日本円が120円に増えます。つまり、差額の20円(120円-100円)が利益となります。

一方、スワップポイントで利益を上げたいと思ったら、低金利の通貨を売って高金利の通貨を保有することで、金利の差額分を毎日利益として受け取ることができます。

例えば、金利1%の通貨を売って金利3%の通貨にシフトすると、毎日2%(3%-1%)分の金利が受け取れるようになります。

また、FXには「レバレッジ」という仕組みがあり、自己資金の最大25倍までの金額を取引できます。

例えば、10万円の自己資金がある人は、レバレッジを使えば最大で250万円までの金額が取引できます。

ただし気をつけないといけないのが、利益が出ればその利益は25倍になりますが、損失が出るとその損失が25倍にまで拡大するということです。

レバレッジをかけすぎるととんでもない借金を背負うこととなりますので、投資初心者は要注意です。

## FXのリスク

FXは為替レートの変動を利用した取引のため、国際情勢の影響を大きく受けます。

アメリカの雇用統計が良かった、日本政府が重大発表をした、あらゆるニュースに反応して、為替は刻一刻と変動します。

FXのリスクは、様々な材料に反応して相場が常に動いているため、プロでも展開を予測することが難しい点です。

投資初心者がプロを出し抜いて利益を上げようとするのは、非常に困難であると言わざるを得ません。

また、投資初心者がやっと思い間違いがちなのが、「レバレッジ」をかけすぎることです。

レバレッジは最大で25倍までかけられますが、仮に10万円を元手に1万円の利益が出たら、25万円の利益を上げられます。

一方、1万円の損失が出たケースを考えてみると、損失は25倍の25万円にまで拡大しますから、差し引き15万円の借金（10万円-25万円）を抱えることになります。

つまり、本来は最初に投資した1万円の範囲までしか損失が出ないはずが、レバレッジをかけることで、借金を背負うリスクが発生するのです。

ここで挙げた以外にも、FXには様々なリスクがありますので、注意しましょう。

## FXのトレード手法

FXのトレードは、取引する時間の長さによって「スキャルピング」「デイトレード」「スイングトレード」「ポジショニングトレード」に分けられます。

一番取引時間が短いのがスキャルピングで、数秒から数分で一回のトレードが完結します。

次にくるのがデイトレードで、1日単位でトレードを行います。

スイングトレードになると、数日から数週間にわたってトレードを行い、ポジショニングトレードになると、数ヶ月～数年単位と長期にわたって取引を行います。

それぞれのトレード手法には一長一短がありますので、あなたに合うスタイルの取引を行いましょう。

## 個人向け国債

個人向け国債とは、政府が個人投資家向けに発行する国債です。

国債ということから分かる通り、日本政府が破綻しない限り、元本と利子の支払いが保証されていますので、安全性はピカイチです。

個人向け国債は、個人でも投資しやすいよう1万円から投資できるようになっていたり、発行後1年で中途換金できるようになるなど、かなり使い勝手が良くなっています。

個人向け国債は3種類あり、変動金利で満期が10年の「変動10」、固定金利で満期が5年の「固定5」、満期が3年の「固定3」があります。

いずれの国債も最低金利0.05%が保証されていますが、今はネット銀行の方が金利が高いので、個人向け国債を利用するメリットは残念ながらほとんどありません。

個人向け国債に投資するなら、米国債（金利2.5%ぐらい）に投資した方がいいです。

# 出資系の投資

世の中には「楽して稼げる」系の様々な出資話があります。

結論から言うと、そういった話の9割が嘘か短期的なノウハウで廃れてしまう可能性が高いです。

出資系の投資で数百万円損している僕が言うのですから、間違いありません。

楽して稼げる投資が存在することは間違いありませんが、そういった投資ノウハウが未来永劫通用する保証はどこにもありませんし、他人にお金を預けるということは、他人に自分の運命を委ねることになりますから、注意が必要です。

投資で稼げるようになってお金に余裕ができてから、出資系に投資するのがいいと思います。

## 最後に

今回は、投資の基本と具体的な投資の種類について解説してきました。

世の中には非常に多くの投資がありますが、共通していえるのが、しっかりと基本をマスターして投資を行うことが大切だということです。

この教材を読むことで、それぞれの投資の概要はご理解いただけたと思いますので、あとはあなたが興味を持った投資について、深掘りして勉強してみてください。

この教材を読んだあなたが、投資を始めるべく一歩踏み出してくれたら、非常に嬉しいです。

目代康二